

抗 マウス シスチン/グルタミン酸 トランスポーター (xCT) ポリクローナル抗体

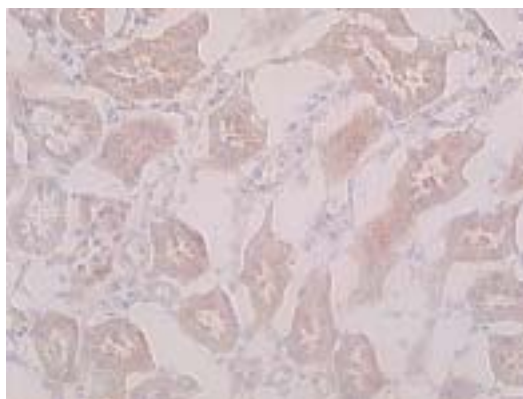
哺乳類のアミノ酸輸送システムは、基質となるアミノ酸分子の多様性を反映して多種類のトランスポーターから構成され、その輸送基質選択性とNa⁺依存性により種々の輸送系に分類されています。

Cystine/Glutamic acid transporter (xCT) は、多選択性アミノ酸トランスポーターファミリーの中でも、Na⁺非依存性・酸性アミノ酸輸送系 x-c に属しています。xCT は、シスチンとグルタミン酸を輸送基質とする交換輸送体で、4F2 heavy chain (4F2 hc:CD98)とヘテロ2量体を形成することでその機能を発揮します。また、通常 xCT は細胞内のグルタミン酸を放出し、細胞外のシスチンを取りこむ形で機能すると言われ、細胞内に取りこまれたシスチンは、システインに還元されグルタチオン生成の基質になります。

xCT の発現は、細胞への酸化的ストレス付加により誘導されることから、xCT は酸化的ストレスに対する細胞保護因子として位置付けられています。

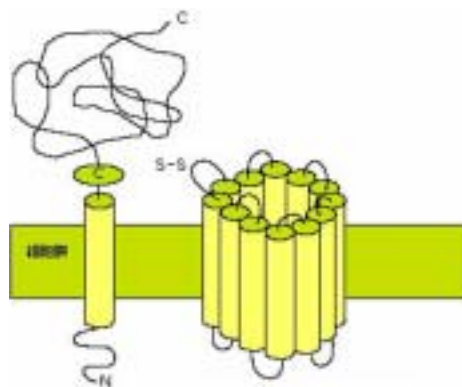
本抗体は、免疫組織染色、イムノプロットングに有用です。また、免疫したマウスxCTの抗原ペプチドはヒトとの相同性が高く、ヒト xCT にも反応することが確認されています。

容量	25μg (250μL/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.1mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	- 20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	マウス xCT の N 末ペプチドで免疫して得られたウサギの抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	免疫染色: 5μg/mL イムノプロットング: 1μg/mL
HGNC 名 ()	SLC7A11(Solute Carrier superfamily 7A11) HGNC: Human Gene Nomenclature Committee



マウス腎臓 (凍結切片)

抗 マウス シスチン/グルタミン酸 トランスポーター (xCT) ポリクローナル抗体



4F2hc LAT トランスポーターファミリー
ヘテロ2量体型アミノ酸トランスポーター

【参考文献】

1. Kim J.Y., Kanai Y., Chairoungdua A., Cha S.H., Matsuo H., kim D.K., Inatomi J., Sawa H., Ida Y., Endou H., Human cystine/glutamate transporter: cDNA cloning and upregulation by oxidative stress in glioma cells. *Biochim. Biophys.Acta.*1512: 335-344,2001.
2. 蛋白質 核酸 酵素 46(5) 583-586,2001

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp